

Topics 地域の取り組み・仕組み

特集



大解剖 vol.1 地区協議会

地区協議会とは

地区協議会は、地区の特性と資源をいかして、地区の課題を自ら解決し、さらに魅力発信や向上に取り組む団体同士のネットワークで、市内の全10地区で設立されています。町田市町内会・自治会連合会の地区連合会、町田市青少年健全育成地区委員会、町田市民生委員児童委員協議会のほか、学校、社会福祉法人、社会福祉協議会、消防団や地域活動団体など、様々な団体が参加・協力しています。



写真で見る地区協議会の取り組み

各地区協議会では、地区協議会ニュース等の広報活動のほかに、地域ごとに異なる課題や特性を生かしながら、趣向を凝らした取り組みが行われています。ここでは、各地区協議会の取り組みの一部をご紹介します。

各地域の全取り組みは、右記二次元コードのリンク先でご確認いただけます。



CASE 01

小山・小山ヶ丘地区ネットワーク協議会

実施事業名：つながるフードドライブ

各家庭・事業所に備蓄されている防災用品の見直しを呼びかけ、賞味期限の近い食料品をフードドライブにお持ちいただくことで、地域密着の循環型社会の形成を目指しています。



CASE 02

町田第二地区協議会

実施事業名：見守り事業

地域の交通安全や防犯等に対する体制を整え、子どもたちが安全・安心に登下校できる地域をつくるため、「登下校時のいっせい見守り」を定期的に実施しています。



CASE 03

鶴川地区協議会

実施事業名：ハッピーフライデー

鶴川市民センターと協力して、課題別のテーマを設定し、地域住民のためになり、なおかつ楽しい企画を毎月開催。地元野菜の販売、キッチンカーによるランチ提供も人気です。



CASE 04

南地区協議会

実施事業名：みなみひまわりプロジェクト

「南地区を元気にしたい!」という思いから始まった住民主体のプロジェクト。7月に植えたひまわりの種が見事な大輪の花を咲かせ、子どもたちや地域を見守ってくれました。



INTERVIEW

各地区協議会では、地域で活動する人や団体の皆さんの支援や連携・協働をしながら、様々な地域活性化事業を推進しています。ここではその一例として、講演会「ヤングケアラーを知ろう～地域の繋がりでできることを考える～」を実施した木曽地区協議会の皆さんに、開催までの道のりや今後の取り組みについてインタビューした様子をご紹介します。



お話を聞かせてくださった木曽地区協議会役員の皆さん。左上から三沢さん、金田さん、友田さん、左下から藤嶋副代表さん、金子代表、一戸副代表。木曽地区協議会の取り組みは右記二次元コードのリンク先でご確認いただけます。



木曽地区協議会

—— サポートオフィス

ヤングケアラー※当事者であり、その体験を元に現在は自身のケア経験や、ケアをする過程の中での気づき【自分らしく生きる】ことについて講演等の活動をしている木曽地区在住の友田智恵さんとともに講演会を実施したそうですが、どんなことがきっかけで実施に至ったのでしょうか？

—— 木曽地区協議会

木曽地区に住む方から、ヤングケアラーに関する活動をしている住民の方がいると聞き、2022年に市内で開催された地区ミーティングで友田さんとお会いしました。まずはお互いに知り合うことが大事だなと思い、地区協議会の活動にお誘いしました。共に活動する中で、友田さんの活動の意義を知り、もっと多くの方にも知ってもらいたいと思い講演会の実施に至りました。当日は(一社)ケアラーワークス代表理事の田中先生からの説明とともに当事者である友田さんの体験談やそこから生まれた地域への想いなどをお話いただきました。

—— サポートオフィス

開催した際の参加者の反応はいかがでしたか？

—— 木曽地区協議会

「子どもたちの気持ちに寄り添うことが大切だと感じた」「話せる人、話

せる場所がないので、一人で抱えてしまいSOSが出しにくい現状を知った」「助けての声を受け止めて支援に繋がりたい」などの感想が寄せられました。「私たちの身近にも起こりうること」という認識を地域の皆さんと共に持てたことが大きな収穫でした。

—— サポートオフィス

今後、地域活動をされている方や団体が、地区協議会とともに活動を進めるコツがあれば教えてください。

—— 木曽地区協議会

どうやって事業を進めるかは各地区によって異なると思いますが、私たち木曽地区協議会では、地域の特性や課題に沿ったテーマであれば、ぜひお話を聞いてみたいと思っています。多様化する地域のお困りごとはもちろん、この地域にずっと住み続けたいと思える価値を生む事業を実施するために木曽地区協議会は広く扉を開けていますよ。気軽に相談ください。

※ヤングケアラー：本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話を日常的に行っている子どもや若者のこと。本当なら享受できたはずの、勉強に励む時間、部活に打ち込む時間、将来に思いを巡らせる時間、友人とのたわいもない時間といった「こもとしての時間」を持っていないといった課題が目立っている。

出典：政府広報オンライン



まとめ サポートオフィス×地域の取り組み

地域活動団体の皆さんにとって、地域でネットワークを構築しながら地域活性や交流の場づくりをされている地区協議会の取り組みは、活動の輪を広げていくためのヒントがたくさんあるのではないのでしょうか？私たちサポートオフィスでは地区協議会だけではなく、本年度、地区社会福祉協議会(地区社協)※とも、連携して事業を実施する機会がありました。それらの組織と一緒に活動してみたいと思った団体の皆さんは、まずサポートオフィスにご相談ください。実現したいことを共に深めながら、各所へのコーディネートをしてまいります。

地区社会福祉協議会について



サポートオフィス×地域の取り組みについて

